

# ジャパン・ソサエティーとの国際共同委嘱による新作オペラ

(ニューヨーク)

## チケット発売日

10月22日[土]

東京文化会館メンバーズWEB先行発売  
10月15日[土]~20日[木]

料金	S席	A席	B席
一般	6,600円	4,400円	2,200円
25歳以下	3,300円	2,200円	—
65歳以上 (50枚限定)	5,940円	—	—
ハンディキャップ (介添え1名まで同一料金)	5,500円	—	—

## チケットのお申込み

東京文化会館チケットサービス ■ 03-5685-0650  
t-bunka.jp  
チケットぴあ ■ t.pia.jp  
イープラス ■ eplus.jp/t-bunka/

※団体割引(S席/10名以上)あり。詳細は東京文化会館チケットサービスまでお問合せください。  
※B席及び各種割引チケットは東京文化会館チケットサービスのみ取扱。各種割引は要証明書。  
※東京都のガイドライン等に基づき販売いたします。収容定員制限と販売状況に応じ、今後販売を停止する場合がございます。予めご了承の上ご購入ください。  
※最前列はD列です。 ※発売日には全席を販売します。  
※本公演は、自死を扱った作品を上演します。  
※やむを得ない事情により、内容が変更になる場合がございますので予めご了承ください。  
※未就学児の入場はご遠慮ください。  
※託児サービス(要予約・有料・定員あり・1/27(金)17時締切)があります。  
イベント託児・マザーズ：0120-788-222

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
東京文化会館オフィシャル・プラチナパートナー：五洲製薬 長谷工グループ  
東京文化会館オフィシャル・ゴールドパートナー：朝日信用金庫 株式会社ブルボン  
企画制作：東京文化会館 事業係 t-bunka.jp @tbunka\_official  
国際共同制作：ジャパン・ソサエティー(ニューヨーク)

ジャパン・ソサエティー「note to a friend」プロジェクト：  
◇支援=Doug and Teresa Peterson  
◇特別協力=The Japan Foundation, New York  
◇助成=New York State Council on the Arts with the support of the Office of the Governor and the New York State Legislature.



ジャパン・ソサエティー(JS)：  
1907年(明治40年)に日米の相互理解の促進を目的にニューヨーク市に設立された米国の民間非営利団体。マンハッタン東47丁目の本部ビルにて芸術・文化・教育・経済・政治と多岐に渡る事業を年間200以上主催している。

note to a friend 公演詳細はこちら



それは動機の全部ではない。

東京文化会館  
舞台芸術創造事業

# note to a friend

2023年  
2月4日[土]・5日[日]

15:00 開演 (14:30開場) 全1幕/原語(英語)上演 日本語字幕付  
予定上演時間：約1時間(休憩なし)

Feb 4 (Sat) & 5 (Sun) 2023 15:00 (Open 14:30)

東京文化会館 小ホール

Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

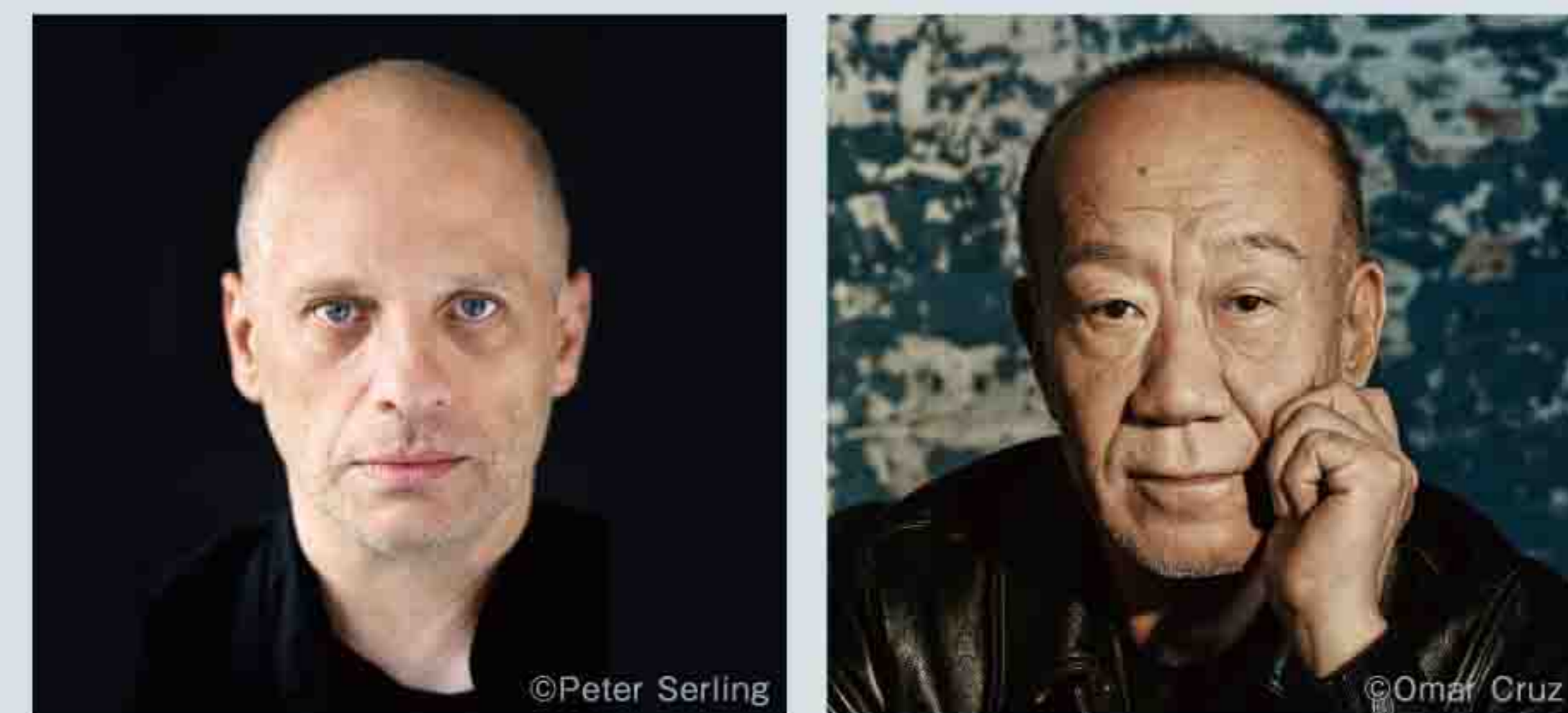
原作：芥川龍之介「或旧友へ送る手記」「点鬼簿」  
Original Work: AKUTAGAWA Ryunosuke's "A Note to a Certain Old Friend" and "Death Register"  
作曲・台本：デヴィッド・ラング  
Music and Libretto: David LANG  
演出：笈田ヨシ  
Production: OIDA Yoshi



## 関連イベント

### デヴィッド・ラングが語る現代音楽

デヴィッド・ラングが新作の解説を行います。  
また、ゲストに久石譲を迎えて、二人の音楽トークをお楽しみいただけます。



日程：2023年2月3日[金] 19:00開演

会場：東京文化会館 小ホール

出演：デヴィッド・ラング(作曲家)

ゲスト出演：久石 譲(作曲家)

11月26日[土] 発売 指定 1,650円 25歳以下 1,100円

※イベント詳細は、決定次第  
東京文化会館公式ウェブサイトに掲載いたします。

## ニューヨーク公演概要

日程：2023年1月12日[木]・14日[土]・15日[日]

会場：ジャパン・ソサエティー  
Lila Acheson Wallace Auditorium 333 East 47th Street, New York, NY  
※第1ヴァイオリン：小川響子(第10回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞)



- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京外口銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用や検温など、ご理解とご協力をお願いしております。「東京文化会館へご来場される皆さまへのお知らせとお願い」をお読みの上、ご来場くださいますようお願いいたします。  
t-bunka.jp/info/5673/



# 芥川龍之介 × オペラ

『或旧友へ送る手記』『点鬼簿』に基づく物語

## 日本の文豪 × 世界

### ニューヨークでも大好評を博したオペラプロジェクト第2弾。

#### Introduction

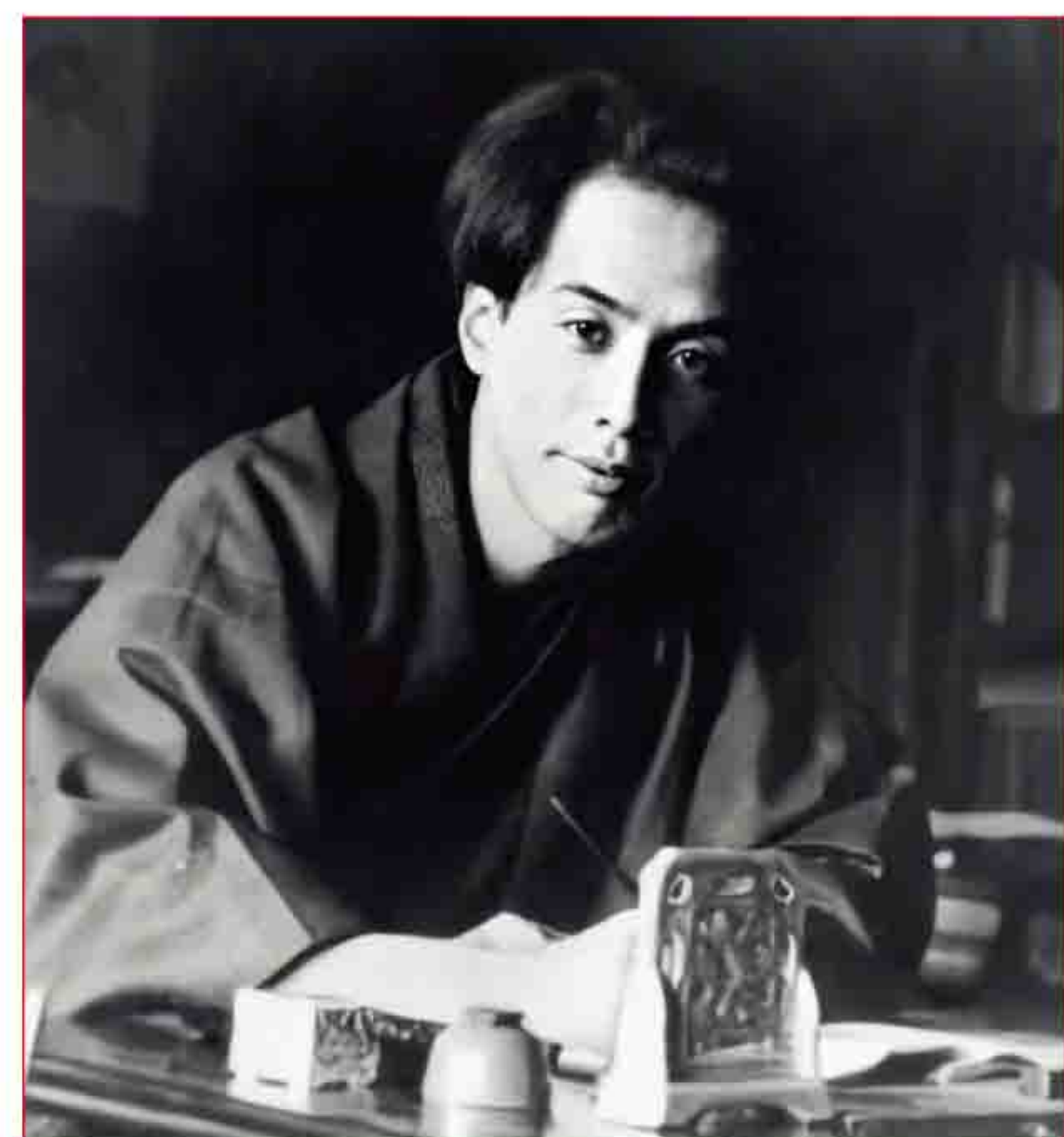
東京文化会館とジャパン・ソサエティーによる共同制作の第2弾は、アメリカの人気作曲家デヴィッド・ラングに委嘱した新作オペラ「note to a friend」。芥川龍之介の遺稿『或旧友へ送る手記』と著者自身の家族に関する小説『点鬼簿』をベースに、ラング自ら台本を書き上げた作品です。この台本の中で、ラングは「死んだ男」という原作にはない新たなキャラクターを創り出しました。ヨーロッパを拠点に世界の舞台上で活躍する演出家箕田ヨシが、このシンプルな「死んだ男」のモノオペラに奥行きを与えていきます。

歌手には、作曲家の意向によりジャズの世界で活躍するセオ・ブレックマンが起用され異色のオペラとなるほか、東京文化会館が誇る東京音楽コンクール入賞者による若手実力派カルテットの熱演も見逃せません。幅広いフィールドで活躍する出演者・スタッフがニューヨークに集い、リハーサル、世界初演を経て、東京文化会館での日本初演に臨みます。独創的な舞台にどうぞご期待ください。

#### The Work

構成：全1幕／原語(英語) 日本語字幕付  
1 Act/Sung in English with Japanese surtitles

1. prelude
2. people who kill themselves
3. my mother had lost her mind
4. I had a sister
5. first instrumental
6. my father had a store
7. my mother my sister my father
8. second instrumental
9. I wanted to die
10. long silence



芥川龍之介

#### Composer's Notes

日本の偉大な作家、芥川龍之介の物語を初めて読んだのはまだ10代のときでした。後に私は彼の遺書とも言える『或旧友へ送る手記』を読みました。この手記には、計算された冷静な側面も見取ることができ、あたかも彼が自分自身のために物語の登場人物を生み出したかのようさえあるのです。そしてこのようなペルソナ(登場人物)の深い感情を浮き彫りにする一助となり得るのは音楽ではないか、と勝手に思っていたのです。私は、芥川による死の手記の中の要素と彼の死を予感させるような晩年の作品の一部から、私自身の手で芥川作品の登場人物を核とした一つの歌曲集を紡ぐことができないうか、と考えるようになったのです。

デヴィッド・ラング作曲家ノート(2021年11月)より一部抜粋翻訳

#### Message

デヴィッドが新しいオペラを書いた。日本の芥川龍之介を題材にして日本で上演する。常に前衛であり続ける彼を僕は心から尊敬している。実は前に新しいオペラの構想を彼から聞いていた。それがどう実現するか、早く観たい!

久石 譲 (作曲家)

日本の古典芸能に通じ、三島由紀夫と交流し、師である巨匠ピーター・ブルック譲りのシンプルにして豊穣な演劇感覚を持つ。舞台への飽くなき情熱を胸に、世界の第一線で半世紀以上活躍する箕田。彼の手により本作は、人間の本質に迫る、研ぎ澄まされた世界となるに違いない。まさに芥川龍之介がそうであるように。

高橋彩子 (演劇・舞踊ライター)

セオの声と才能は神様からのギフトだ。メレディスモンクと二人だけのライブで知り、アルバムで「ジャストアリトルワイン」を歌って頂いた。未だにその感動を覚えている。芥川龍之介をモチーフにした新作オペラ? ぜひ観たい。僕は真剣にその頃日本へ帰ろうと目論んでいる。

大江千里 (ジャズピアニスト)



舞台セットイメージ(画=トム・シェンク)

#### Staff & Cast

作曲・台本：デヴィッド・ラング Music and Libretto: David LANG

演出：箕田ヨシ Production: OIDA Yoshi

ステージ・デザイン(美術、照明、衣裳、絵画)：トム・シェンク  
Stage Design (Set, Lighting, Costume, and Painting): Tom SCHENK

照明デザイン補：横山麻里衣  
Lighting Design Assistant: YOKOYAMA Marie

舞台監督：伊藤 潤 (ザ・スタッフ) Stage Manager: ITO Jun (The Staff)

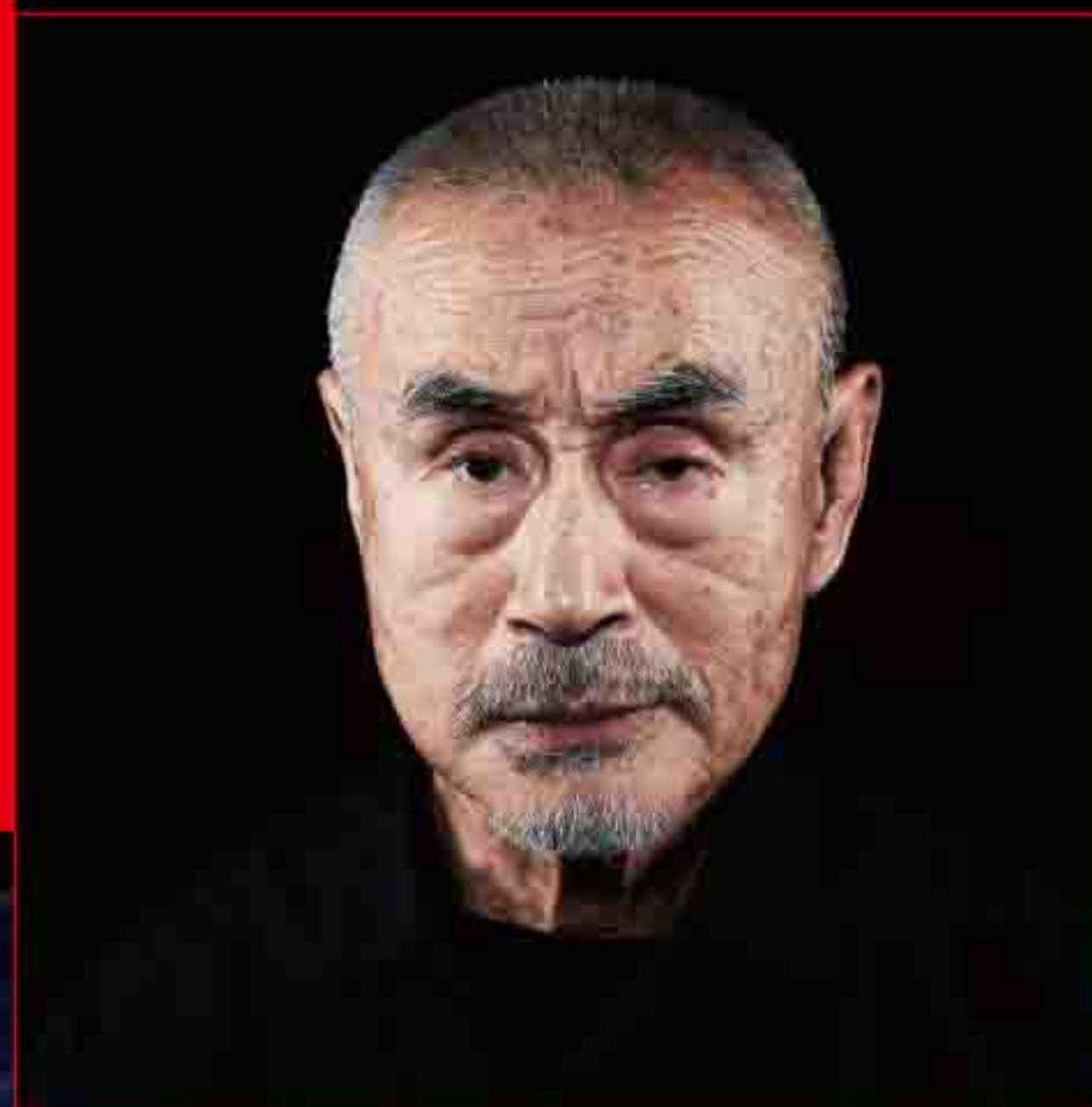
#### Profile



©Peter Serling

作曲・台本：デヴィッド・ラング

デヴィッド・ラング(ニューヨーク在住)は、西洋楽器のソロ曲や室内楽はもとより、実験性の濃い新作オペラや声楽曲の作曲家としても非常に高い人気と評価を誇っている。2007年にカーネギー・ホールで初演されたラングの声楽曲「the little match girl passion」は現代音楽の賞でもっとも権威あるピューリッツァー賞音楽部門を受賞。受賞に際し、The New Yorker 誌は、「いまやアメリカ作曲家の巨匠としての地位を確固たるものとした」とラングを評した。同作品は2010年にBest Small Ensemble Performanceの部門でもグラミー賞を受賞。またバオロ・ソレンティーノ監督の映画「Youth」のために作曲した「simple song #3」は、2016年にアカデミー賞、ゴールデングローブ賞をはじめとする多くの賞を受賞している。ラングは、他のポスト・ミニマリスト作曲家と同様にミニマリストの手法の確立に貢献したが、それにとどまらず、ロックやパッパなどといった全く異なる様々な要素を作曲に用いて現代音楽の可能性を拡大している。ラングの作曲作品はすべてウェブサイト上にて公開されており、楽譜閲覧・視聴可能。https://davidlangmusic.com



©Sébastien Coindre

演出：箕田ヨシ

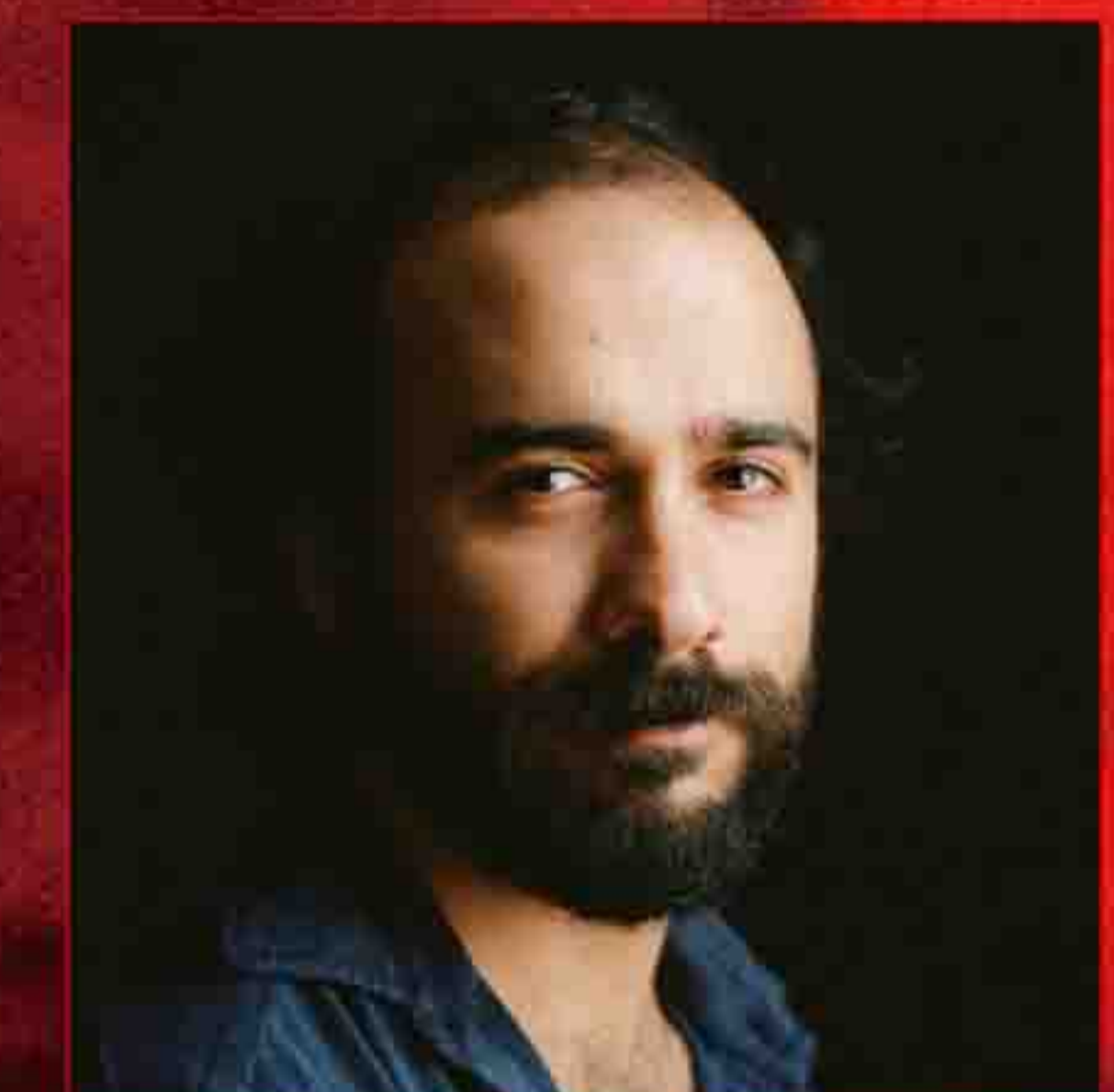
ヨーロッパを拠点に世界の舞台上で活躍する、日本人演出家・俳優。箕田の名は海外でも知名度が高く、数々の演劇やオペラを演出するほか、独り芝居「禅問答」(Interrogations)を40年にわたって世界中で公演するなど、精力的な活動を続けている。ロンドンで演出界の巨匠ピーター・ブルックの作品に欠かせないコラボレーターとなり、1970年にブルックが設立した国際演劇研究センター(CIRT)に参加。以来パリを拠点に、世界各国の劇場で活躍。箕田の書いた演劇論「俳優漂流」(五柳書院、1989)は、9ヶ国語に翻訳されており、世界の俳優のバイブルとして広く読まれている。一方、1990年代末から今日にかけては、主にヨーロッパにてオペラ演出家としての地位を確立。2007年のベンジャミン・ブリティンのオペラ「ベニスに死す」は、世界中で非常に高い評価を得て、カナダでのオペラ・プロダクションの最高賞を受賞した。日本では2017年に『蝶々夫人』、2019年に新作オペラ『紫苑物語』(作曲：西村 朗)を演出している。1992年にフランス芸術文化勲章シュバリエ受勲。以降2007年に同オフィシエ、2013年には最高峰の同コマンドゥールを受勲。



©Lynne Hartly

ヴォーカル：セオ・ブレックマン

ドイツ生まれのジャズ・ヴォーカリスト/コンポーザー。1989年にニューヨークに移り活動する。アンブローズ・アキムムシエの2014年ブルーノート作品「The Imagined Savior Is Far Easier to Paint」などにも参加しているが、ECM作品に参加したのはメレディス・モンクの2002年作品「Mercy」が初。2008年、同じくメレディス・モンクの「Impermanence」、ユリア・ヒュルスマンの2015年作品「A Clear Midnight Kurt Weill and America」などに参加。2017年に自身名義のECMデビュー・アルバム「エレジー」をリリース。



©Maria Baranova

アクター(黙役)：  
サイラス・モシュレフイ



©Marco Borggreve

第1ヴァイオリン：  
成田達輝

第5回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞



©Shigeto Imura

第2ヴァイオリン：  
関 朋岳

第16回弦楽部門第1位



©Taira Tairadate

ヴィオラ：  
田原綾子

第11回弦楽部門第1位及び聴衆賞



チェロ：  
上村文乃

第5回弦楽部門第2位